

第2期（平成28年度）

総会議案書

日時 平成29年1月29日（日）
午後7時30分

場所 竹町公民館

農事組合法人 竹町農業生産組合

第2期 総会議案書

次第

1. 開会の辞
2. 代表理事挨拶
3. 総会成立宣言
4. 議長選出
5. 議事録署名人指名
6. 書記指名
7. 議事
 - 議・第1号 第2期事業年度（平成28年度）事業報告の承認について
 - 議・第2号 平成28年度特団会計決算報告について
監査報告
 - 議・第3号 第2期事業年度（平成29年度）決算・剰余金処分（案）について
貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案
監査報告
 - 議・第4号 第3期事業年度（平成29年度）事業計画（案）について
 - 議・第5号 第3期事業年度（平成29年度）予算（案）について
8. その他
9. 閉会の辞

議・第1号 第2期事業年度（平成28年度）事業報告について

農事組合法人竹町農業生産組合は、12月31日現在、集落内の地権者・耕作者全員の組合員38名、特別会員1団体（JA）をもって組織しています。主たる事業としては、転作作物として、小麦（農林61号）を栽培しています。集落内の転作小麦は、一圃を除いて全て生産組合が栽培しています。

昨年度、特定農業団体から脱却し法人を設立しましたが、コンバインは農用地利用改善組合1台、リース1台を所有していますが、他の農業機械はなく、自力だけで充実するには困難です。農用地利用改善組合のコンバインや格納庫、洗い場は、平成21年に充実し、10,180,000円の借金をしています。コンバインは、補助金に対応せず自力のみで購入しました。毎年返済していますが、現在約半額の5,621,880円の借金が残っています。補助金がないのに充実するにはかなり困難が生じることがわかりました。

近年、毎年充実すべく補助申請をしていますが、ことごとく却下され、導入することが出来ません。従って、播種作業は動力撒布機による散播です。一部個人所有のクリーンシーダー1台による播種作業をしているところです。トラクターなどは全て個人所有のものを使用しています。麦跡大豆の栽培も播種機がないので導入することが出来ませんでした。

昨年、法人事業税の免除のため、農業生産法人資格取得に係わる、農地法第3条の規定による申請をし、2戸の方より62.23aの水田を借用しました。今年度、農地法の改正によって名称も農地所有適格法人となりました。毎年事業報告書の提出が義務づけられています。転作地を除いた水田31.7aは水稻の栽培も実施しました。

小麦栽培においては、経営面積が1141.3aで、収量は、27,910kgでした。反当245kg/10aで少ない収量でした。湿地や雑草による収量減と思われます。カントリー費用約84万円に対して、小麦の販売価格は36万円と大きく下回り48万円補填しなければなりません。市場価格が低迷していることも要因の一つと思われます。

小麦栽培費用の削減にも取組み、収穫時には例年よりも少ない人数で対応するとともに、軽トラックの借用により、毎年リース料が高騰しているダンプトラックの借上げもませんでした。コンバインの有効利用が必要で、水稻にも利用して頂き、ご無理なところ使用に協力いただき、15万円の収入を計上することができました。組合員の皆様には、大変ご苦勞をお掛けいたしました。

例年3月に交付金が約70万円程度入りますが、金額が確定していませんので今年度は計上しませんでした。その結果精算するには10万円が必要なので、農用地利用改善組合から病虫害防除補助金、農災共済取扱補助金の分を補填しました。地代については、予算的には、小麦6,000円/10a、大豆4,000円/10aとしていましたが大豆の栽培をされなかった組合員が多かったため、今年度に限り10,000円/10aで精算することにしました。

無難に1年目を終えることができました。これも一重に組合員皆様のご理解とご協力の賜物であり、心から御礼申し上げる次第であります。

農用地の「一集落一農場」をめざし、認定農業者を含め町内の全ての農家・全ての地

権者が協力し、対応していただきました。町内の全農地を傘下にした取組みは、他の集落に類を見ない状況であり、大変喜ばしい事だと思います。

農業生産組合よりの作業委託につきましては、個人経営の作業と同じぐらいに真剣に対応して頂き有り難うございました。

県・市などへの申請書、報告書につきましては、組合員さんで文書作成に堪能な方にかなりの時間をさいて頂きご協力頂いたことに深く感謝いたします。第2期事業年度として、初めて収支を計上し経理をご担当いただきました総務部役員さんにも感謝申し上げます。各担当部門の業務につきましては、正・副部長さんをはじめ部会員の方々のご尽力に対しまして厚く御礼申し上げ報告とします。

各部門からの事業報告については、各部門別に別紙資料を参照ください。

第2期（平成28年度）事業報告

月日	場所	参加者	内 容
1/1	公民館	全員	竹町自治会（改良組合）年始会
1/7	再生協	組合長	再生協臨時総会
1/8	グリーンホテル	組合長	市役所賀詞会
1/9	ニューウミ	組合長	市長新年会
1/12	農協本店	組合長	第1回全体役員推薦会議
1/13	再生協	組合長	転作計画提出
1/14	農協東	組合長	農業共済役員推薦会議
1/15	公民館	役員	改良組合第1回役員会
1/17	公民館	役員	生産組合会計監査・役員会
1/18	組合長宅	組合長	滋賀コープサービス宮川氏協議法人名義
1/19	農協他	組合長	農協・農業共済名義変更手続き
1/20	農協西	組合長	改良組合桐原役員推薦会
1/21	フカオ	組合長	リース名義変更手続き
1/24	公民館	組合員	農）竹町農業生産組合第1期総会
1/28	農協他	組合長	総会終了報告 議事録（書記）議案書提出
1/29	県庁	組合長	統計農林センサス 農林水産大臣表彰
1/29	ニューウミ	正副長	J A出資法人総会
2/1	公民館	正副長	自治会選挙立会
2/2	農業共済	組合長	N O S A I 部長、損害評価員名報告
2/3	農協西	組合長	八幡西支店第5回改良組合長会
2/4	農協西	組合長	農協役員西支店推薦会
2/13	農協本店	組合長	J A活動成果発表会
2/19	農協西	組合長	農協西支店ふれあい委員会
2/20	農協本店	組合長	農協本店あれあい委員会
3/5	男女参画	組合長	農政フォーラム
3/7	あかね	組合長	東近江地域農業セミナー
3/8	むら井	組合長	桐原改良組合お別れ会
3/10	ヒョウタンヤ	組合長	農協八幡代表者会お別れ会
3/14	農協本店	組合長	第2回役員推薦回議
3/15	農協西	組合長	水稻細目書・米出荷申出書提出
3/19	公民館	全員	自治会・改良・土地改良・守る会年度末総会
4/1	組合員宅	役員	小麦の生育状況資料作成配布（実肥、防除）
4/2	常会番宅	全員	自治会組常会（改良組合）

4/10	公民館	役員	初顔合わせ 第2回役員会
4/12	農協西	組合長	収入減少緩和交付金申請
4/13	農協西	組合長	西支店第1回改良組合長会
4/22	再生協	組合長	再生協議会総会
4/27	ヒョウタンヤ	組合長	第1回市改良組合長代表者会
5/6	農協西	組合長	平成28年産小麦管理日誌提出
5/10	市農委	組合長	農業生産法人報告書提出
5/10	農協西	組合長	西支店第2回改良組合長会
5/20	農協駅前	組合長	平成27年産収入減少緩和生産量提出
5/26	公民館	組合員	農協押印・経営安定対策申請
5/27	農協西	組合長	人・農地プラン、農地中間管理機構協議
5/28	八日市文	総代	農協総代研修会
5/30	組合長宅	組合長	農業共済東近江支所長と協議（総会）
6/1	農協西	組合長	農地中間管理機構借受申請（定款組合員名簿）
9/1	農協西	組合長	小麦収穫作業共済申込
6/5	公民館	役員	公民館移転準備
6/6	再生協	組合長	パワーアップ事業協議
6/8	現地	組合員	小麦収穫・運搬 6/8～6/10 3日間
6/9	現地	組合員	コンバイン掃除
6/13	再生協	組合長	パワーアップ事業希望調書提出
6/14	農協駅前	組合長	法人事例集原稿提出
6/19	公民館	組合員	公民館移転
6/22	男女共同	組合長	損害評価委員会全員協議会
6/24	農協駅前	組合長	総代会事前検討会
6/25	八日市文	総代	第22回通常総代会
6/26	公民館	組合員	新公民館内覧会
7/2	現地	組合員	水稻現地研修会
7/7	組合長宅	組合長	農業共済農水書保険計画確定申告資料提出
7/8	現地	組合長	市防除協議会病虫害予察
7/11	魚庄	組合長	西支店選出農協経営役員との懇談会
7/12	男女共同	組合長	農業共済組合推進大会
7/14	農協東	組合長	市集落営農推進協議会総会
7/15	現地	組合長	第2回病虫害予察

7/19	県再生協	組合長	収入減少緩和交付金掛金振込
7/19	公民館	組合員	農談会
7/21	文化会館	補助員	農業委員会補助員大会
7/23	公民館	組合員	公民館竣工式
7/27	組合員宅	耕作者	大特講習会全組合員に案内
7/27	農協西	組合長	病虫虫防除協議会総会
7/27	男女共同	組合長	損害評価委員会
7/30	あかね	組合長	営農サミット
7/31	新施設	役員	新施設竣工式
8/1	組合員宅	組合員	農地調査日
8/1	農協西	組合長	病虫害予察（最終回）
8/4	組合長宅	組合長	パワーアップ不採用
8/6	公民館	組合員	夕涼会
8/9	組合員宅	組合長	農家台帳記入確認
8/10	ニューオウミ	組合長	米穀報告会
8/12	農協西	組合長	西支店第3回改良組合長会
8/16	市農委	組合長	農地中間管理機構貸借用紙、農地台帳協議
8/17	農協西	組合員	西支店感謝祭
8/19	むら井	組合長	桐原改良組合長会
8/22	農協西	組合長	栽培日誌、GAP提出
8/25	格納庫	組合長	生産組合リースコンバイン農機店で掃除
8/28	組合員宅	組合長	篠原商店水稻葉害苦情関係宅へ謝罪同伴
8/30	格納庫	組合長	コンバイン事故農業共済対応
9/7	共済支所	組合長	水稻損害評価現地確認
9/8	市農委	組合長	農地台帳確認後再提出
9/10	市振興課	組合長	人・農地プラン資料確認協議
9/15	市振興課	組合長	人・農地プラン資料再確認協議
9/21	再生協	組合長	中間管理機構添付書類水稻細目書依頼
9/25	公民館	組合員	改良組合臨時総会 人・農地プラン提案可決
9/28	市振興課	組合長	人・農地プラン提出
10/5	市振興課	組合長	人・農地プラン申請OKだが交付金は無。
10/7	市振興課	組合長	再検討（認定農業者等に依頼）
10/8	彦根田原	役員	麦の播種前研修

10/10	公共用地	組合員	コンバイン掃除
10/11	農協東	組合長	農地利用集積円滑化事業農協貸付引受解約
10/12	組合員宅	役員	総会報告書・議事録配布、初穂米依頼など
10/13	格納庫	組合長	麦資材搬入
10/14	市振興課	組合長	農地台帳取得、人・農地プラン提出取下げ
10/15	圃場	役員	小麦資材配布、土改材散布
10/21	組合員宅	組合長	人・農地プラン提出資料収集
10/24	市振興課	組合長	人・農地プラン申請書 貸借資料再提出
10/25	農協西	組合長	竹町農業生産組合用免税軽油申請用紙取得
10/26	市農委	組合長	農地流動化利用権設定書類提出
10/27	市振興課	組合長	人・農地プラン再修正提出
10/30	圃場	組合員	小麦播種作業開始
10/29	市振興課	組合長	人・農地プラン交付金計算確認
11/2	農協西	組合長	桐原営農組合大豆収穫協議
11/13	農協西	組合員	西支店感謝祭
11/15	市役所	組合長	市改良組合長代表者会（農業委員説明会）
11/17	農協西	総代	農協総代懇談会
11/25	共済組合	組合長	農業共済損害評価委員会
11/29	彦根甲良	組合長	市集落営農研修会
11/30	農協西	組合長	西支店改良組合長会
12/5	県事務所	組合長	軽油免税申請
12/8	公民館	役員	法人会計協議
12/9	市農委	組合長	農業委員応募桐原学区団体推薦状提出
12/12	市農委	組合長	農業委員応募書類修正提出
12/13	公民館	役員	役員会 法人会計（西村氏）報告・計画
12/14	公民館	総務部	以降数日間会計処理
12/16	農協西	組合長	市病虫害防除補助金申請29小麦播種前契約
12/22	農協駅前	組合長	農地中間管理機構借受確認
12/23	組合長宅	総務課	法人会計・特団会計 明細書作成提出
12/24	役員宅	役員	役員会案内 総会資料作成依頼 以降作成
12/25	公民館	総務課	賦課金徴収 会計支払明細書配布

議・第2号 平成28年度特団会計決算報告について

2016年竹町農業生産組合(特団)会計決算報告

平成28年1月1日～12月31日

平成29年1月29日

月 日	項 目	収 入	支 出	残 高	備 考
1月1日	借入金	300,000		300,000	農用地会計から
2月22日	預金利息	157			JA
3月7日	農業収支資料		1000		JA
3月7日	27年水田活用交付金	729,554			近畿農政局 27補
3月11日	26年産麦精算	208,802			JA
3月14日	26年産くず小麦清算	18,575			JA
3月14日	26年産流通交付金	7,976			近畿農政局 26補
6月29日	県農業再生協減収補	37,446			県農業再生協
6月29日	近畿農政局減収補	112,338			近畿農政局
6月30日	麦出役傷害保険		999		農業共済
8月22日	預金利息	21			JA
10月25日	農機具共済金機械	23,899			農業共済
12月26日	麦出役傷害保険	999			生産組合から振替
12月31日	小 計	1,439,767	1,999	1,437,768	
12月19日	利息等振り替え		23,077		農用地会計へ
12月26日	26小麦精算2		235,353		各生産者口座へ
12月26日	27小麦精算1		879,338		各生産者口座へ
12月31日	借入金返済		300,000	0	農用地会計へ
	合 計	1,439,767	1,439,767	0	

竹町農業生産組合組合長
副組合長

川 橋 俊 雄
北 川 誠 次

2016年竹町農業生産組合会計の監査について

竹町農業生産組合の会計について監査をいたしましたところ、適正に処理されていること認めます。

平成29年1月29日

会計監査委員

荒 川 雅 男

東 純 市

平成27年産小麦収支内訳書(平成28. 1. 1～12. 31) 29. 1. 29
面積 914. 9^ア

収 入

販売金額	27年産精算	501,025円
雑収入	水田活用の所得補償交付金	3,199,000円
畑作物の所得補償交付金(営農継続)		1,828,000円
畑作物の所得補償交付金(数量)		510,909円
	☆水田活用直接支払い交付金	729,554円
☆減収補填金、国県分		149,784円
合 計		6,918,272円

支 出

経費	種苗費	農協種	433,710	
				433,710円
肥料費	土力じまん		439,300	
	元肥		357,420	
	追肥		261,513	
	硫安		96,114	
				1,154,347円
農薬	ベンレート		36,398	
衛生費	ハーモニー		314,417	
	トップジンM		115,620	
				466,435円
地代	刈取・運搬		914,900	
賃借料	カントリー		691,612	
				1,606,512円
共済掛金				152,093円
その他(会計支援資料等)				600円
合 計				3,813,697円

概算精算額 3,104,575円

33. 933円/10^ア

平成26年産小麦収支内訳書(平成28. 1. 1～12. 31)

面積 911.4^{ア-}

収 入

販売金額	26年産精算	970,881円
雑収入	水田活用の所得補償交付金	3,188,500円
畑作物の所得補償交付金(営農継続)		1,828,000円
畑作物の所得補償交付金(数量)		1,496,439円
	☆水田活用直接支払い交付金	676,758円
※くず小麦生産・流通交付金		235,353円

☆ 合 計 8,395,931円

支 出

経費	種苗費	農協種	138,700	
		採取種	168,480	
				307,180円
肥料費	土力じまん	430,885		
	元肥	351,256		
	追肥	255,024		
	硫安	92,340		
				1,129,505円
農薬	ベンレート	32,536		
衛生費	ハーモニー	308,256		
	ワークアップ	114,840		
				455,632円
地代	刈取・運搬	911,400		
賃借料	カントリー	919,521		
				1,830,921円
共済掛金				190,219円
その他(会計支援資料等)				600円
合 計				3,914,057円

☆ 概算精算額 4,481,874円

☆49,176円/10^{ア-}

平成25年産小麦収支内訳書(平成25. 1. 1～12. 31)

面積 892.6^ア

収 入

販売金額	25年産精算	637,379円
雑収入	水田活用の所得補償交付金	3,122,000円
畑作物の所得補償交付金(営農継続)		1,984,000円
畑作物の所得補償交付金(数量)		516,665円
	※水田活用の所得補償交付金追加分	535,200円
	※収入減少影響緩和交付金	2,861円
	☆くず小麦生産・流通交付金	253,036円
☆合 計		7,051,141円

支 出

経費	種苗費	農協種	49,640	
		採取種	218,808	
				268,448円
	肥料費	土力じまん	417,984	
		元肥	328,465	
		追肥	239,540	
		硫安	90,060	
				1,076,049円
	農薬	ベンレート	35,664	
	衛生費	ハーモニー	321,750	
		ワークアップ	114,840	
				472,254円
	地代	刈取・運搬	892,600	
	賃借料	カントリー	621,031	
				1,513,631円
	共済掛金			138,423円
	その他(会計支援資料等)			600円
	合 計			3,469,405円

☆概算精算額 3,581,736円

☆40,127円/10^ア

議・第3号 第2期事業年度決算・剰余金処分（案）について

1. 貸借対照表

単位：円

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
(流動資産)	13,982,255	【流動負債】	2,396,142
現金・預金	10,544,034	未払金（小麦資材）	2,277,242
棚卸資産（小麦）※ ¹	2,108,557	未払い法人税	118,900
ナラシ拠出金積立※ ²	68,253	【固定負債】	880,000
消費税還付未収金※ ³	336,805	出資預り金※ ⁵	880,000
従事分量配当仮払金	924,606	負債合計	3,276,142
(固定資産)	100,000	【純資産の部】	
有形固定資産	0	(資本金)	10,806,113
無形固定資産	0	出資金	9,744,000
投資その他の資産※ ⁴	100,000	繰越利益剰余金	1,062,113
		純資産合計	10,806,113
資産合計	14,082,255	負債・純資産合計	14,082,255

注記)

※1…小麦資材費から消費税を差し引いたもの

※2…農業再生協議会への積立金

※3…消費税還付金

※4…JAグリーン近江への出資金（JAグリーン近江からの出資金と相殺）

※5…準組合員からの預かり金

2. 損益計算書

単位：円

科 目	金 額
【純売上高】	803,453 円
【製造原価】	6,280,731 円
【売上原価】	0 円
【売上総利益】	△5,477,278 円
【販売費及び一般管理費計】	△267,400 円
【営業損失】	△5,744,678 円
受取利息	2,964 円
補助金収入	6,934,694 円
受取配当金	600 円
【営業外収益】	6,938,258 円
【営業外費用】	0 円
【経常利益】	1,193,580 円
【特別利益】	0 円
【特別損益】	0 円
【税引き前当期利益】	1,193,580 円
法人税、住民税、事業税等	119,473 円
当期純利益	1,074,107 円
前期繰越利益剰余金	△11,994 円
当期末処分利益剰余金	1,062,113 円

3. 剰余金処分案

当期末処分利益剰余金	1,062,113 円
合 計	1,062,113 円

これを次の通り処分する


利益準備金	110,000 円
農業経営基盤強化準備金	0 円
従事分量配当金	924,606 円
次期繰越利益	27,507 円


以上の通り報告します。

監査報告

第2期事業年度（平成28年度）の会計について、
去る1月15日に監査をいたしました結果、第2期
事業年度（平成28年度）貸借対照表および損益計
算書に基づく証拠書類等の内容はいずれも適正に
処理されていたことを認めます。

平成28年1月15日

代表監事 荒川雅男 

監事 東 純市 

報告書

第2期事業年度（平成28年度）事業報告・決算・剰余金処分案及び監査報告書を添えて、総会に提出いたします。

平成29年1月29日

商号 農事組合法人 竹町農業生産組合

代表理事 川橋 俊雄 印

理事 北川 誠次 印

理事 仲川 國男 印

理事 川合 良和 印

理事 川橋 幸己 印

議・第4号 第3期事業年度（平成29年度）事業計画（案）について

転作小麦を基にした取組を進めることが全組合員の一致点です。このことを中心に事業展開をすることが大切なことには変わりありません。しかし、小麦だけで対応しますと、経理的には、単年度ぎりぎりの状態で、借金返済のための機械の減価償却費や今後の機械の充実に充てる経営基盤強化準備金の計上が出来ませんでした。

9月25日、臨時総会を開催し、人・農地プランを提案したところ、全員一致で可決していただきました。同時に、農地中間管理機構へ農地の貸付をしていただき、法人の竹町農業生産組合が借受けする計画をして頂きました。その結果、集積率は15.6%となりましたが、地域集積交付金（担い手への新たな集積、集約5%以上増加する地域、）の交付基準の20%に達しないため交付金の支払いに該当しないことが判明しました。そこで、認定農業者2名に借受けの了解を得ると共に、耕作を委託している域内の土地所有者全員に協力をお願いしましたところ全員のご協力をいただくことができました。さらに他の方への協力依頼を行った結果、機構への貸付割合は40.9%となりました。

交付単価は、2割超～5割未満・5割超～8割未満・8割超の3段階の交付基準単価が設定されていることから、他の大半の集落では、8割超をめざした取組をされ、多額の補助金が交付されています。竹町は最低の補助単価ではありますが、皆様方のご協力により交付されることになり有り難く厚く御礼申し上げます。竹町農業生産組合 65,755 m²、認定農家 68,495 m² 合計 134,250 m²となりました。地域集積協力金ですので、用途の計画書の提出が義務づけられています。該当者の事務経費を除いて大半は、竹町農事改良組合として農業機械などの充実資金に充てたいと思います。農)竹町業生産組合の借受け面積は、約65,755 m²となりますが、すべて作業委託として組合員にお願いすることにします。

平成29年度の小麦は、既に播種前契約をしています。その価格は、既に入札され昨年度より低価格との情報が入っています。

ここ2年は収量が減少し、数量払いの交付金が激減しています。地球温暖化が原因となれば、収量の増加は望めませんし、収益も伸びません。

今後、大豆の栽培も検討する必要があります。桐原学区のある集落では、大豆も2万円の営農継続、1万5千円の水田活用、2毛作の2,000円大豆種子更新などの交付金がもらえるので会計的には良いと言っておられます。役員会では、大豆栽培の経験も無いことから、今年度は一定の面積（概ね1ha以上の連担団地・補助金はない）で試験的に栽培することを提案され、具体的計画に着手されているところです。

米の価格については、転作が計画とおりに実施されていることから、昨年度より若干良くなりましたが、低迷が続いています。TPPも国会で可決しましたが、アメリカ次期大統領のトランプ氏は、脱退すると表明しています。今後どうなるか全くわかりません。2国間のFTA交渉となればかなり厳しい状況

が待ちかまえており、予断を許しません。一方、別途7万トンの米の輸入が言われていますが、需要量の毎年8万トンずつの減少と合わせると、滋賀県の生産米15万トンに匹敵します。これが現実となり輸入されればさらに価格は下がります。経営的には、麦・大豆は一体的に栽培されており、水稻が一番所得が悪いと言われています。従って収入減少緩和交付金は、水稻は支給されますが小麦・大豆は支給されていません。この交付金は、掛金制度で認定農家や法人には出ますが、一般の農家には交付されません。そうなりますと、個人で賃貸借するよりも、農地中間管理機構に土地を預けて、法人として栽培した方が経営的に有利であります。自由度がないかもしれませんが、検討に値するのではないかと思います。来年には別途、収入保険制度が国会に上程される予定です。

野菜においては、桐原学区のある地域では、カット野菜を栽培されています。収穫を含めて女性人も多く参画されており、小遣いを多くもらえて良いとの声もあり喜んでもらえているとのこと。

県の資料によると10aあたりの所得の試算の参考値は、水稻で7千円、麦1万5千円、大豆3万4千円となっています。

農地中間管理機構を通しての賃貸借は、早くから集落営農に取り組んでおられる地域では既に機構を利用して、多額の交付金を支給されています。法人化されたところは、平成27年度に集中して提出されています。平成28年度より交付金の単価が引き下げられたためか、平成28年度から激減しました。

平成30年度には交付金制度は無くなるかもしれませんので、今のうち申請しようという地域が多くあります。農)竹町農業生産組合も借受として申請する予定です。平成29年度の国家予算では、中間管理機構へは16年度比倍増の155億円を計上されています。一例ですが、25,000/10aの経営転換協力金を頂いて、法人や認定農家の仕事をして労賃を頂くやり方が、経営の苦勞もなく一番得な方法であると言われてしています。

平成30年からは国は生産調整の割当もしません。出荷団体に任せられますので何らかの対応があると思います。今のところ再生協議会が情報提供をされることになると思いますが、今後、農)農業生産組合としてどう経営をするのか。年次別に計画を提案し総会で了承されていますが、前倒しとして取り組みを検討しなければならない状況となってまいりました。

採算を合わせるには、生産費の大幅削減が必要です。農機具がなければ何もできません。役員会で反対のご意見もありますが、昨年度の総会で決定して頂いていますので、補助金がある場合は、申請して充実させていきたいと思えます。竹町としては、人・農地プランや農地中間管理機構の利用、農地所有適格法人などに申請し認められています。予算獲得への条件は揃ってきています。28補正予算と29予算では、TPP対応として大規模化への補助金が増額されています。農業農村整備事業(土地改良)予算は、5,772億円にもなり大幅に増額されています。先般報告した農道舗装はこの予算での対応となります。今回申請しているは、国50%、市12.5%の補助事業ですが、竹町土地改良区の残額が少ないので、立替金の一部を改良組合の会計より返却したいと思っ

ています。今回の対応だけでは、かなりの未舗装が残りますので引き続き対応したいと思っています。予算があるときに対応しないと何もできなくなりますし、一方、借金を多くして返済ができなければ何もなりません。返済計画をしっかりと立てて、それに合わせて対応することが必要であると思います。

交付金が認められなくても、将来の為に、農) 農業生産組合として農業経営基盤強化準備金として支出が認められている補助金の範囲内での引当金も計上する必要があります。多くの法人では百万円単位で計上されています。

事業計画や運営方針等につきましては、各部会のご意見も充分とりあげ、より良いものにしていかなければなりません。自らの組合として部会を介して建設的なご意見を期待しています。

役員も交代していかなければなりません。どのようにして交代するのか。役員選挙はどうするのか。選挙規約を作ることも必要かもしれません。今後役員会で検討しますのでご意見をお聞かせください。経営方針を提示して役員に立候補していただければ有り難いと思います。

各部門からの事業計画（案）

- ①総務部 別紙資料を参照
- ②営農部 別紙資料を参照
- ③管理部 別紙資料を参照
- ④転作部 別紙資料を参照

【総務部】

平成28年度の総括と平成29年度の取り組み

【平成28年度の総括】

■出来たこと

1. 個別耕作者にほぼ前年並みの支給が出来た。(前年並み以上)
2. 事業計画策定、決算処理が概算ながら可能となり、事業見通しが可能となる。
3. 水稻の作付けが出来た。

■出来なかったこと

1. 反当たりの収量、品質等級共に前年割れとなり、収益が伸びなかった。
2. コンバインの借金返済に充てる剰余金が確保出来なかった。
3. 役員報酬も賄えず、将来に対する経営基盤強化準備金の積立も出来なかった。
4. 事業の次の柱が見つけられていない。(現状維持では収益拡大は見込めず)

《小麦の収量と品質》

	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
栽培面積	114.13反	91.49反	91.14反	89.26反
総収穫量	27,910kg	22,816kg		
反当たり収穫量	245kg	249kg		
1等A (6,410円/60kg)		17,716kg		
1等B (5,910円/60kg)	27,910kg			
2等A (5,250円/60kg)		5,100kg		
小麦売上金	360,038円	501,025円	970,881円	637,379円
畑作物の直接支払交付金	2,749,135円	2,338,909円	3,324,439円	2,500,665円
水田活用の直接支払交付金	3,993,500円	3,199,000円	3,188,500円	3,122,000円
収入合計	7,102,673円	6,038,934円	7,483,820円	6,260,044円
反当たり収入	62,233円	66,006円	82,113円	70,133円
※参考：小麦相場(kg単価)	15.76円	22.46円	25.62円	25.91円

※小麦の市町村別基準単収：近江八幡 279kg、野洲 337kg、守山 344kg と比較して 245kg は少ない。

※畑作物の直接支払交付金等級単価は過去3年間同一で平成25年度が全ての等級で40円高い

※小麦の等級はカントリー毎に同一ではなく、納入者毎に評価されており、品質向上努力は必要。

■総括

小麦の面積当たり収益は過去4年間で最も低く、収穫量、品質共に悪化して来ていると言わざるを得ません。小麦を主力作物として、安定した収益力をつけるには何らかの見直しが必要。また、将来的に事業を拡大するには、法人設立時の事業目論見通りに水稻の作

付け面積を増やすか、小麦収穫後に大豆などの畑作物をやって行くかの見極めが必要と思われま

【平成 29 年度の取り組み】

各部門から提出いただいた計画に基づき、法人全体の収支計画（損益計算書）を纏めま

小麦については、転作面積が約 6 % 減となるため減収減益となりますが、水稻については一部の農地を農地中間管理機構から法人が借り受ける分増産となり、小麦の減収を補った上、全体として増収増益となります。但し、剰余金をコンバインの借金返済や利益準備金の積立、役員報酬の支払いに回すと、税引き後利益は殆どゼロというカツカツの状態であり、更なる収益源を探す必要があると考えます。

この状況に対して、今年度より意欲的な取り組みを一部の組合員が試験的に実施しようとして

（目標：収量 300 kg / 反、等級：1 等 B ランク以上）

【営農部】

第 3 期（平成 29）年度 水稻の作業委託と収支計画（案）

1. 水稻の作業委託と耕作地について

昨年 9 月にある組合員の方から健康上と機械が無いという理由で、これ以上水稻の栽培が

2. 作業計画

今年度

借受け面積の内、238.3a の水田は、現在小麦（転作）を栽培をしています。作業については、従来通りとしますが（農作業標準労賃、農機具使用料金表）に基づいて作業料金を支払います。

3. 収支計画

収益（売上＋補助金）	4,783,395 円
製造原価（機械賃借料・燃料代含）	3,484,732 円
諸経費	50,000 円
	1,248,663 円

以上の様になります。

現在生産組合所有の農機具はコンバインしかありませんが、多くの組合員の方に有効活用していただき、農機の集約化を図りたいと思いますので宜しくお願いします。

2017(平成29)年度水稻栽培収支計画(案)

		単 価	数 量	金 額	摘 要
収入	みずかかみ売上		240袋	1,560,000	
	一般米売上		464袋	2,784,000	
	環境交付金		14.11反	56,440	
	直接払い		41.34反	163,125	
	コンバイン賃貸料		33.82反	219,830	
	合計				4,783,395
支出	環境こだわり米	とれ太郎	56袋	92,456	
		硬化苗	240袋	187,200	
		みずかかみ専用	38袋	125,400	
		除草剤	2袋	5,420	ウイナーLジャンホ*
		防除剤	16袋	21,088	スタークルDL
		施設利用料	4,616 kg	92,320	
		小計		523,884	
	一般米	消毒剤	2袋	1,386	
		育苗賠土	20袋	11,040	
		硬化苗	377袋	301,600	
		種子	5袋	11,200	
		除草剤	28袋	121,203	ジャンホ*・粒剤・フロアブル
		防除剤	25袋	45,550	ルーチンアドスピノ・スタークル
		肥 料	56袋	164,094	一発型・元肥・追肥
		紙 袋	352袋	29,216	
		施設利用料	13,887 kg	347,175	
		借地料	41.34反	414,000	
		水利費	41.34反	198,720	
		水稻共済金	41.34反	14,862	
		小計		1,660,046	
	作業料金	耕起 平起	41.34反	103,500	10a
		耕起 畝立	41.34反	103,500	10a
		中割り 碎土	41.34反	103,500	10a
		代掻き	41.34反	103,500	10a
		田植え 施肥等	41.34反	144,900	10a
		施肥 追肥	41.34反	28,980	10a
		溝切り	41.34反	28,980	10a
		①施肥 穂肥	41.34反	28,980	10a
		②施肥 穂肥	41.34反	28,980	10a
		防除 農薬散布	41.34反	28,980	10a
収穫		41.34反	393,300	10a	
運搬		41.34反	62,100	10a	
乾燥		18.7	84,285	10a	
粳摺り		18.7	74,920	10a	
水管理 畦畔管理		41.34反	124,200	10a	
燃料		400L	31,600	免税軽油	
諸経費			50,000		
小計			1,524,205		
合計			3,708,135		
差引合計				1,075,260	

【転作部】

第3期（平成29年度の取り組み）

平成28年度は小麦価格の下落および収穫量の減少により大幅な収入減となりました。29年度においても大きな改善は望めず何らかの方策が必要と思われませんが、資材等は既に購入済みであり、少しでも良い麦を多く収穫することくらいしか方策はありません。

そのためには、これからの小麦の栽培管理の徹底に取り組むことが大事だと思いますので、よろしくをお願いします。

また、29年度は一部の耕作地で試験的に大豆とソバの栽培に取り組んでいきます。補助金や栽培・管理などの検証を確認するために実施していきます。

30年度については、材料費低減を図り、一部資材の見直し等に取り組んでいく必要があると考えます。

平成29年度は生産調整率34.7%に従い、1075.7a(35.3%)として下記のとおり計画しました。

収入

項 目	内 訳	単価	合計
小麦価格	4.08俵/反(昨年実績)	774	339,697
畑作物所得補償数量払い	1等Bランク 4俵	5,910	391,555
水田活用所得金額		35,000	3,764,950
団地加算・担い手		7,500	806,775
種子更新		2,000	215,140
営農継続		20,000	2,151,400
麦施設支援(JA)			16,973
合計			7,686,490

支出

項 目	内 訳	単価	合計
種子	農林61号*1291Kg	360	464,760
種子消毒	ベンレート100g*38袋	604	22,952
種子消毒	ベンレート500g*7袋	2,841	19,887
除草剤	ハーモニー粒剤*269袋	1,404	377,676
土壌改良材	土カじまん*538袋	967	520,246
元肥	稲麦化成488*216袋	1,618	349,488
穂肥	NKC20号*160袋	1,748	279,680
実肥	硫安*98袋	1,064	104,272
病虫害防除	トップジンM粉剤*143袋	967	138,281
カントリー使用料	320K*107.57a	22	759,014
農業共済	前年実績		95,003
農業機械使用料	6,300円×107.57反+15,000円	6,300	692,691
土地借用料		10,000	1,075,700
用水費		4,800	516,336
コンバインリース料			477,110
燃料代(免税軽油)			40,000
修繕費			100,000
麦出役者傷害保険			5,349
農機具共済掛け金			4,120
雑費		300	34,239
小計			6,076,804
労賃 従事分量配当	昨年と同一基準		828,699
合計			6,905,503

【管理部】

H29年度管理部重点推進事項

◆大型農業機械の拡充

- ・農作物生産の効率化・生産コストの低減を図るべく、栽培作物計画と連動した農業機械の導入計画を策定する。
- ・大型農機の助成案件に対するリサーチを継続、メリットの見込める案件については検討を行う。

◆現有設備のメンテナンス技能の習熟と伝承

- ・作業後の設備保全について、手順や要領を明確化、マニュアル化を行う。
- ・設備保全メンバーを育成、メンテナンス技能の向上を図る。

◆廃棄設備・機械のリユース推進

- ・耕作者から廃棄予定の設備や機械の譲渡を受け、メンテナンスの上、応急対応用としてリユースを図る。

小麦 平成29年度栽培管理作業委託先 (農) 竹町農業生産組合 NO.1

番号	地名・地番	台帳面積	共済面積	地権者	管理機 構貸借	機構組 合借地	生産組 合管理	管理作業委託先
1	東横関町 宮前	882	415	4.1	川橋 幸己		○	川橋幸己
2		883	496	7.9	万里川 平	○	○	船橋雄平班
3		884	419	4.1	船橋 文雄	○	○	〃
4		885	380	3.7	富田 正己		○	仲川國男
5		886	1,963	15.5	船橋 いよ	○	○	小川稔雄 4 a野
6	大鹿	995	1,318	13.1	万里川 平	○	○	船橋雄平班
7		996	1,051	10.4	荒川 敏和		○	荒川雅男
8		997	1,412	14.0	荒川 好一		○	〃
9		998	1,710	17.0	北川 誠次	○	○	小川稔雄
10		999	1,609	16.0	川橋 好栄	○	○	〃
11	竹町 亀月	894	2,828	28.1	中江 義雄	○	○	川橋俊雄
12		895	2,676	26.6	仲川 元治		○	仲川國男
13		896	1,158	11.5	船橋文雄	○	○	船橋雄平班
14		897	2,017	20.0	中川 昭三		○	中川昭三
15		898	3,224	32.0	船橋 正和	○	○	川橋俊雄
16		899	3,230	32.1	富田 甚弘	○	○	〃
17		900	3,235	32.1	船橋 雄平	○	○	船橋雄平班
18		901	1,025	10.1	〃	○	○	〃
19		902	2,201	21.8	仲川弥一郎		○	仲川國男
20		903	3,277	32.6	〃		○	〃
21		904	2,266	22.5	仲川 保雄		○	仲川保雄
22	社裏	909	1,378	13.7	川橋 好栄		○	北川佐一
23		910	1,614	16.0	富田 正己		○	仲川國男
24		911-1	1,141	21.3	北川 仙二	○	○	船橋雄平班
25		-3	55	0.5	〃	○	○	〃
26	日向	918	2,012	20.0	荒川 正晴		○	荒川正晴
27		919	1,048	10.4	北川 佐一		○	北川佐一
28		920	2,441	24.2	船橋覚太郎		○	船橋道雄
29	丸田	925	956	9.5	船橋清太郎	○	○	船橋雄平班
30		926	2,098	20.8	船橋 正和	○	○	川橋俊雄
31		927	1,746	17.3	仲川 國男		○	仲川國男
32		928	1,018	10.1	川橋 俊雄	○	○	川橋俊雄
33		929	2,728	27.1	小川 稔雄	○	○	小川稔雄
34		930-1	2,136	21.2	川合 良和		○	川合良和
35		-2	234	2.3	〃		○	〃
36	上荒木	936	1,378	13.7	船橋清太郎	○	○	船橋雄平班
	小計		60,892	603.3				

小麦 平成29年度栽培管理作業委託先 (農)竹町農業生産組合 NO.2

番号	地名・地番	台帳面積	共済面積	地権者	管理機構貸借	機構組合借地	生産組合管理	管理作業委託先
37	竹町 上荒木 937	876	8.7	仲川 保雄			○	仲川保雄
38	938	2,319	23.0	船橋 清一			○	仲川國男
39	940	1,854	18.4	仲川弥一郎			○	船橋雄平班
40	941	1,577	15.6	富田 正己			○	仲川國男
41	942	1,018	10.1	仲川 國男			○	〃
42	943	2,254	22.4	船橋 雄平	○	○	○	船橋雄平班
43	945	3,051	30.3	船橋覚太郎			○	船橋道雄
44	946	1,576	15.6	大森 六朗			○	荒川雅男
45	947	1,440	14.3	小川 康子			○	〃
46	砂原 1095	2,264	22.5	万里川 平	○	○	○	船橋雄平班
47	1096	579	5.7	〃	○	○	○	〃
48	1097	1,698	16.8	北川 誠次	○		○	小川稔雄 〃
49	1098	1,893	18.8	仲川 國男			○	仲川國男
50	前久穂 1103	1,466	14.5	荒川 好一			○	荒川雅男
51	1104	2,579	22.6	仲川弥一郎			○	〃 3a野
52	1105	2,584	25.7	仲川 菊			○	〃
53	1106	2,573	25.6	中川 昭三			○	中川昭三
54	1107	2,479	24.0	北川 佐一			○	北川佐一
55	1108	919	9.1	川合 良和			○	川合良和
56	1109-1	773	7.6	荒川美智子			○	荒川正晴
57	-2	700	6.9	〃			○	〃
58	古川尻 1118	1,469	14.6	小西 信昭	○	○	○	船橋雄平班
59	1119	868	8.6	万里川 平	○	○	○	〃
60	1120	1,394	13.8	仲川 保雄			○	仲川保雄
61	1121	947	9.4	大森 六朗			○	荒川雅男
62	1122	2,335	23.2	船橋 清一			○	仲川國男
63	1123	2,250	22.3	船橋 康秀	○	○	○	船橋雄平班
64	1124	1,249	12.4	荒川 好一			○	荒川雅男
65	西畑 1131	1,004	9.9	荒川 正晴			○	荒川正晴
	小計	47,988	472.4					
	合計	108,880	1075.7					

小川稔雄 92.4 中川昭三 45.6 荒川雅男 138.9 川橋幸己 4.1 川合良和 32.6
 仲川保雄 45.0 仲川國男 208.7 川橋俊雄 123.1 荒川正晴 44.4 船橋雄平班 238.3
 船橋道雄 54.5 北川佐一 48.1 小麦合計 1075.7a
 加工米・野菜は個人対応 (農業生産組合が借受している圃場は組合が対応する。)

水稻 平成29年度栽培管理作業委託先 農) 竹町農業生産組合

番号	地名・地番	台帳面積	共済面積	地権者	管理機構貸借	機構組合借地	生産組合管理	管理作業委託先
1	竹町 草深 1027	1,914	19.0	荒川 敏和	○	○	○	船橋雄平班
2	下荒木 961	2,937	29.2	小川 康子	○	○	○	〃
3	若宮町中音城寺 690	1,474	14.6	仲川 菊	○	○	○	〃
4	竹町 草深 1021	1,717	17.0	〃	○	○	○	〃
5	若宮町中音城寺 691	2,303	22.9	仲川弥一郎	○	○	○	〃
6	竹町 下荒木 965	1,545	15.3	〃	○	○	○	〃
7	女夫輪 982	3,100	30.8	仲川 幹雄	○	○	○	〃
8	草深 1022	1,377	13.7	仲川 幸男	○	○	○	〃
9	御屋敷 1146	2,150	21.3	〃	○	○	○	〃
10	草深 1026	920	9.1	船橋 文雄	○	○	○	〃
11	野瀬 1038	2,030	20.1	船橋 康秀	○	○	○	〃
12	(白地) 352	373	3.7	船橋 雄平	○	○	○	〃
13	女夫輪 989	3,135	31.1	〃	○	○	○	〃
14	畑ヶ中 1055	2,950	29.3	万里川 平	○	○	○	〃
15	拘込 1076	1,623	16.1	北川 佐一	○	○	○	〃
16	1075	472	4.6	東 純市	○	○	○	〃
17	草深 1020	3,206	31.8	〃	○	○	○	〃
18	西裏 1084	922	9.1	〃	○	○	○	〃
19	船橋雄平班 計	34,148	338.7					
20	竹町 下荒木 967	2,128	21.1	富田 甚弘	○	○	○	仲川國男班
21	女夫輪 990	3,109	30.9	〃	○	○	○	〃
	仲川國男班 計	5,237	52.0					
22	竹町 下荒木 973-1	2,351	23.3	北川 誠次	○	○	○	北川誠次班
	北川誠次班 計	2,351	23.3					

農) 竹町農業生産組合借受圃場 (農地中間管理機構)

	管理作業委託先	台帳面積	共済面積	水稻	小麦	合計
1	船橋雄平班	58,167	577.0	338.7	238.3	577.0
2	仲川國男班	5,237	52.0	52.0		52.0
3	北川誠次班	2,351	23.3	23.3		23.3
	合計	65,755	652.3	414.0		652.3

議・第5号 第3期事業年度（平成29年度）予算計画（案）について

（詳細は別紙参照）

第3期（平成29年度）予算計画の栽培作物としては、小麦、水稻に加え、大豆、ソバの試験栽培を行う事になりました。これは、これら作物が将来の事業の柱になり得るかどうか、またどれほどの労力がかかるものかを見極めるために行うものです。

第3期の小麦の栽培面積は約108反と昨年より減少しましたが水稻の作付面積を昨年より大幅に増やし約41反とし、大豆10反、ソバ約14反を加えると総経営面積は昨年より約56反増の173反となります。

この結果、年度見通しは増収増益となり、栽培作物の売り上げは約80万円から約400万円へと飛躍的に増大する見込です。これに補助金等の営業外収益を加えると、収益合計は1,222万円となり、昨年より約448万円の増収を見込んでいます。

一方、税引前当期利益は約215万円の予測で、昨年比約96万円増となります。

（以降、詳細は別紙で説明）

ここで、我々の実入りである耕作者への支払総額（地代は純地権者分を含む）と法人に残る金額を整理しますと、以下の見通しとなります。

		第3期（H29年度）	第2期（H28年度）
耕作者	農機具賃借料	1,684,729円	710,259円
	地代（純地権者分込み）	1,489,100円	1,171,100円
	従事分量配当	1,627,033円	924,606円
	合計	4,800,862円	2,805,965円
法人	コンバイン借金返済	300,000円	0円
	利益準備金	196,551円	110,000円
	経営基盤強化準備金	0円	0円
	次期繰越金	141,928円	20,507円
	合計	638,479円	130,507円

上表から明らかなように、法人としては借金返済と法定の利益準備金に剰余金を回すことが精一杯で、将来的に農業機械や設備を充実させて行く経営基盤強化準備金等には一切回せないのが現状です。

第3期の予算計画は、一旦このようにしましたが、将来に対する布石が打てないということは大きな問題で、今後の検討課題とし、次回総会までに、将来に対する剰余金を如何に確保するかについて検討を進めて参ります。

農作業標準労賃・農機具使用料金表（改定）

平成28年1月24日総会議決

農事組合法人竹町農業生産組合

	作業内容	単位	作業料金	内 訳	
				労賃	農機具使用料
水 稲	耕起 平耕	10 a	2,500円	1,000円	1,500円
	耕起 畦立	10 a	2,500円	1,000円	1,500円
	中割り 碎土	10 a	2,500円	1,000円	1,500円
	代かき	10 a	2,500円	1,000円	1,500円
	田植 施肥等含む	10 a	3,500円	1,000円	2,500円
	施肥 追肥	10 a	700円	500円	200円
	溝きり	10 a	700円	500円	200円
	施肥 穂肥①	10 a	700円	500円	200円
	施肥 穂肥②	10 a	700円	500円	200円
	防除 農薬散布	10 a	700円	500円	200円
	収穫	10 a	9,500円	3,000円	6,500円
	運搬	10 a	1,500円	1,000円	500円
	乾燥	10 a	4,500円	500円	4,000円
	粃摺り	10 a	4,000円	2,000円	2,000円
	水管理 畦畔管理	10 a	3,000円	2,000円	1,000円
合 計	10 a	39,500円	16,000円	23,500円	
小 麦	土改散布	10 a	500円	300円	200円
	耕起 平耕	10 a	3,000円	1,000円	2,000円
	施肥 播種	10 a	2,000円	1,000円	1,000円
	溝きり	10 a	500円	300円	200円
	除草剤散布	10 a	500円	300円	200円
	施肥 追肥	10 a	500円	300円	200円
	施肥 穂肥	10 a	500円	300円	200円
	防除 農薬散布	10 a	500円	300円	200円
	収穫	10 a	7,000円	2,000円	5,000円
	運搬	10 a	1,600円	800円	800円
	平耕	10 a	2,500円	1,000円	1,500円
	畦畔管理	10 a	1,500円	1,000円	500円
	合 計	10 a	20,600円	8,600円	12,000円

- 摘要
1. 農機具の燃料は受託者負担。各資材は委託者負担とする。
 2. 農機具のみの貸借による燃料は利用者負担とする。
 3. 土地面積は、農業共済引受面積とする。
 4. この標準料金表を参考に耕作田の状況や作業の難易度ならびに一括受託作業別受託、農機具のみの利用などを考慮し、両者で充分話し合ってから決定してください。個人所有、組合所有共通です。

改定の要点

1. 生産費の削減をしないと経営が成り立たない。
2. 労賃は、水稲 16 時間/10a 小麦 8.5 時間/10a とした。
3. 小麦は 5~6 時間程度に下げたいが個人委託では困難、今後検討
4. 農機具使用料は、1 万円程度にしたいが困難。今後検討。
5. 農地小作料 水稲 10,000 円/10a 小麦 6,000 円/10a 大豆 4,000 円/10a
水利費（耕作者負担） 水稲 4,800 円/10a 小麦 4,800 円/10a